

【創世記第24章】

「そこでその人は

ひざまずき、主を礼拝して、言った。……彼らのことばを

聞くやいなや、地にひれ伏して主を礼拝した。」(24:26、52)

イスラエルチームが無事帰国しました。お祈りを感謝します。新しく与えられたみことばは表紙の通りですが、今日の箇所はまさに「主のみわざを見る」事のできた「イサクの花嫁さがし」という聖書の中でも非常に美しい箇所です。

アブラハムを神様はあらゆる面で祝福されていました。一人息子の嫁選びを自分の生まれ故郷から選んでくるようにと、自分の全財産を管理している家の最年長のしもべに誓わせて遣わしました。神様は愛のご配慮を持ってこの花嫁さがしの旅を祝福されたのです。私たち一人一人に対しても、神様の最善のご計画があることを信じましょう。

アブラハムの生まれ故郷と言うのは、肥沃で文明の進んだ地域です。そんな所からイサクの住む片田舎に嫁を連れてくるというのは非常に困難な事だったでしょう。「『あなたの子孫にこの地を与える』と約束して仰せられた天の神、主は、御使いをあなたの前に遣わされる。あなたは、あそこで私の息子のために妻を迎えなさい。」 難しいオーダーでしたが、神様は御使いを用意されて、しもべの忠誠心に励ましを与えて下さいました。私達も神のみ心を行う時に御使いの助けがあることを覚えてください。アブラハムの故郷アラム・ナハライムのナホルの町へ行って、しもべが先ずしたことは神に祈ることでした。「私の主人アブラハムの神、主よ。きょう、私のためにどうか取り計らってください。私の主人アブラハムに恵みを施してください。」そしてしもべは具体的に祈りました。「『水をください』と求めて、自分に水を与えてくれる娘。しかも、「あなたのラクダにも水を差し上げましょう」と言ってくれる娘を……」と。(24:12-14) 優しく気の利く人を神様に祈りました。しかも「この娘は非常に美しく、処女で、男が触れたことがなかった。」まさに理想の花嫁さんですね。何と本当に祈った通りの事が起こったのです。するとしもべは「～ひざまずき、主を礼拝して、言った。「私の主人アブラハムの神、主がほめたたえられますように～」(26、27節) その証を兄ラバンと父ベトエルにしています。それを聞いていた彼らは「このことは主から出たことですから～(リベカを) どうか連れて行ってください。」するとしもべは「彼らのことばを聞くやいなや、地にひれ伏して主を礼拝した。」のです。ご主人の一人息子の為に最高の女性を神様にお願いしたしもべの愛と信仰は感動的です。リベカはしもべについてゆき、イサクの花嫁となりました。母亡き後大きな慰めを得たと書かれてあります。まさにありありと「主のみわざを見る」事が出来る派遣でした。

今年のイスラエルチームも新年礼拝の前に虹が次々と出て素晴らしい神様の祝福が現され、また30年前から預言で語られていたロシア系ユダヤ人との関わりには逆転の勝利を見ることが出来る派遣でした。このしもべのように、神のことばを受けて祈り聞き従うことによって更に主のみわざを見、“恐るべき”リバイバルの働きを見ることが出来ることを信じ、さらに前進してゆきましょう。

皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。教会内での紛失や盗難等については一切責任を負えませんのでよろしくお願い致します。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.11.9 No.814

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、
主のみわざを見るであろう。
わたしがあなたとともに行うことは
恐るべきものである。

出エジプト記 34:10



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccrh/>

